

平成27年4月28日(火)

平成26年度福岡市NPO活動推進補助金

活動報告

シーティング技術の習得と活用を学ぶ研修

二次障害を防ぐ！

～シーティングで変わる障害児者の未来～

主催：特定非営利活動法人障がい者より良い暮らしネット

共催：福岡県肢体不自由児者福祉連合会

福岡市民間障がい施設協議会



二次障害 側弯症のケース



必要性

- これまで日本では「障害を負うと二次障害は必ず生じる。変形、痛み、拘縮、脱臼、褥瘡等の発生は避けられない」と思われてきた
- しかし米国等では車いす上で正しい姿勢保持を行うことで二次障害は予防できると考えられ、シーティングの技術が進んでいる

講師 山崎 泰広 氏プロフィール

- 自ら脊髄損傷のため車いす生活
- 側彎・円背・褥瘡等の二次障害に苦しむ
- 渡米を進められシーティングと出会う
- 二次障害の改善を体験し、自らシーティングスペシャリストとして国内の普及に努める

研修の目的

- シーティングとは車いす上での正しい姿勢を保持すること
- 車いす上で悪い姿勢をとらせない
- 障がい児者の二次障害を防止
- さらに身体機能の向上を図るための車いすとシーティング技術の習得と活用を学ぶ
- 日々、もっとも障害児者に近い存在の支援者に気づきをもっていただき、意識的な支援を行っていただく

研修内容

- 日時：平成26年8月24日（日）10:00～17:00
- 会場：さわやかトレーニングセンター（東区）
- 講師：シーティングスペシャリスト 山崎泰広氏
- 内容：講演・事例検討（シーティング2例）

技術的講習

（昼食・休憩をはさむ）

参加者

- 本人・ヘルパー・家族
 - 福祉サービス事業所支援員
 - PT・OT 看護師
 - 教職員
 - その他
- 計24名











期待される効果

- 現場で障がい児者の支援にあたる人たちが、長時間座位を続ける人の心身機能や生活状況を学ぶことができる
- 車いす上での良い姿勢、悪い姿勢を知り、シーティングを実践できるようになる
- その結果、二次障害の予防ができ、身体の機能が向上する
- 福祉職員の資質の向上・職場内での広がり
- 本人と家族の安心と負担軽減

アンケート①

- はじめて聞くことが多くて感激しました
- 新しい考え方を知ることができました。世界標準が、今の私たちの考え方とちがう点で、びっくりしました。
- 実際に日々関わらせて頂いている方々と同じ障害をもった方のシーティングを見ることができ、理論を含め明日から実践できることが多く有難かったです。

アンケート②

- 大変有意義な活動をなさっていますね。今日はどうもありがとうございました。
- シーティングをする上での大切なポイントをわかりやすくお話しただいて、大変勉強になりました。生きていく上でいろいろなことに通じるお話でした。
- 今まで知らなかったたくさんのお情報を得ることが出来ました。他の職員と今回学んだことを共有していきたいと思います。

NPO活動推進助成金事業の成果

24～26年の3年間

- 1年目、2年目はPTOTに学ぶ研修(宿泊) 述べ74人参加
- 3年目 二次障害を防ぐシーティング研修 24人参加

参加者の声

- 実習・講義ともに解りやすく具体的に説明していただき、期待以上でした。
- 健側に注目することが多く、反対側は補助具などで補うことの方法に終始していた。添えるだけでも感覚入力することによって、体のバランスを補うことなどに気付けたので、今後の仕事に活用したい。
- さまざまな障害に対しての支援（介助方法、声かけ等）、またグループディスカッションでも、本人ができることを考え、さまざまな意見が出て楽しく学べました。

参加者の声

- (今回のような)医療分野との連携した講習は福祉現場の支援員としてとても有難いです。また是非お願いしたいです。
- 必要なことですが、学ぶ機会がなかったのが良かったです。

NPO活動推進助成金事業の成果

24～26年の3年間

- 福祉サービス事業所での医療的視点の重要性の気づき
- 福祉サービス事業所支援員としてOTの採用
- 療養介護事業所との連携によりOTの福祉サービス事業所への派遣契約